

別添 1

基本評価シート
様式

(島根県農林水産部農山漁村振興課鳥獣対策室)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和5年度鳥根県（中国山地）指定管理鳥獣捕獲等事業		
都道府県名	鳥根県	担当者部・係名	西部農林水産振興センター 及び同センター県央事務所
担当者名	係長 澤田 誠吾 主任技師 小沼 仁美	担当者連絡先	0855-29-5604（センター） 0855-72-9563（県央事務所）
捕獲実施事業者	合同会社 fun （認定を受けている） 一般社団法人鳥根県猟友会 （認定を受けている）	予算額（※2）	10,418,100円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	10,418,100円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
40頭	32	80%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
2,990頭（1,239～8,490頭）（R2）	（目標個体数なし）	3000頭（R4）
狩猟捕獲数 （中国山地）	許可捕獲（有害） （中国山地）	許可捕獲（個体数調整） （中国山地）
213頭/R4	630頭/R4	なし

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

・市町村が実施した有害鳥獣の駆除に要する経費（特別交付税対象経費）の2割についてその1/2の額を翌年度の市町村交付金で交付

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>特定計画では中国山地のニホンジカに対し捕獲圧を強めることとしているほか、管理の目標を達成するため、指定管理鳥獣捕獲等事業の実施を検討することとしている。</p> <p>本事業では、局所個体群を対象とした小面積での試行的な捕獲に取り組み、広域に生息するニホンジカの効率的な密度管理を行っていくための基礎資料を得ることを目的とする。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年8月10日～令和6年2月9日 (うち捕獲期間8月28日～11月28日)
実施区域	島根県邑智郡邑南町久喜地内(栃谷国有林) 島根県邑智郡邑南町上田所地内(立岩国有林) 島根県浜田市旭町坂本地内(雲月国有林) 実施区域は国有林で、主に造林地
関係機関との協力	事業実施地市町村や島根森林管理署に協力を得たほか、広島県境に接する3市6町と県で組織する「島根県中国山地ニホンジカ連絡会議」においても協議
事業の捕獲目標	(80%達成) = (32頭 実績値) / (40頭 目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>※1:各種猟法の定義は〇ページ参照、※2:複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(詳細を記載:わなでの捕獲位置を記録、通し番号をスプレッドシートに記録、耳切断前と後の写真を撮影、埋設写真、捕獲個体調査票の記録)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。(自家利用)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p>

	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：ツキノワグマ錯誤捕獲発生時の放獣体制を整備済)</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	<p>地元へ周知したほか、注意喚起の看板や、わなへの標識設置を徹底し、作業開始前にはミーティングを実施した。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数： 22人 (内訳)</p> <p>正規雇用者：22人、期間雇用者： 人 日当制： 人</p>

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価：目標頭数の40頭に対して32頭の捕獲であった。低密度の中、工夫しながら捕獲が進められ、シカの動きを見極めながら効果的な捕獲ができた。
	改善点：捕獲開始が7月からスタートできるように調整をしていきたい。
【実施期間】	評価：1セッション25日間とし、5セッション行ったが、狩猟期間にさしかかった。
	改善点：猟期にかからないような事業計画
【実施区域】	評価：森林管理署の協力で許可捕獲の影響を受けない国有林内で実施
	改善点：低密度では捕獲対象が限定されているため、捕獲対象とする個体の移動に合わせた実施区域の確保が必要
【捕獲手法】	評価：低密度の状態のため周辺に採食可能な植物が十分あることから、非誘引型のくくりわなによる捕獲は適当と考えられる。
	改善点：特になし
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：事業実施5年目。認定鳥獣捕獲等事業者がこれまでの経験を生かしながら捕獲を実施したほか、実施区域を拡大し、新規事業者による捕獲も実施。
	改善点：今後も実施時期、捕獲方法、罠の仕様について検討・改善を進める。
【個体処分】	評価：捕獲区域外の集合理設地に埋設。
	改善点：特になし。
【環境配慮】	評価：ツキノワグマ錯誤捕獲発生時の放獣体制を整備のうえ事業を実施
	改善点：特になし
【安全管理】	評価：地元へ周知したほか、注意喚起の看板や、わなへの標識設置を徹底し、作業開始前にはミーティングを実施
	改善点：現時点ではないが、様々な状況を想定し必要な項目を追加する
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
<p>自動撮影カメラによるシカ撮影頻度については、事業実施中に対して事業実施後は5%低下したに留まり、ほぼ横ばいとなった。捕獲実施期間はニホンジカの動きが活発になる繁殖期と重なるため、他地域からの個体流入し撮影頻度が増加する可能性も考えら</p>	

れる。なお、令和5年度はシカの警戒心を高めないように、25日を1セッションとしてセッション毎にくくりわな架設位置を大きく変えることで、実施中の捕獲効率を維持することができた。

4. 全体評価

令和5年度の事業は、令和4年度事業の捕獲期間43日から25日×5セッションの125日間に拡大して実施したところ、目標の80%にあたる32頭の捕獲実績となったことは評価できる。捕獲実施場所については従来まで実施していた邑南町内地域では高い捕獲効率となったが、新規に実施した浜田市内では捕獲効率が低く、捕獲手法や実施時期については課題が残った。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業では、局所個体群を対象とした小面積での試行的捕獲の実施により、第二種特定鳥獣管理計画に定める捕獲圧強化に寄与したほか、広域に生息するニホンジカの効率的な密度管理を行っていくための基礎資料を得ることができた。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	

③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	平成 _____ 年 (事業年度 _____ の値)	平成 _____ 年 (事業年度 _____ の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	該当なし		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少 人日

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 150人日

事前調査人日数概数※2： _____ 0人日

出猟（捕獲作業）人日数：150人日

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	3,050基日	960基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	平成 年 (事業年度の値)	平成 年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	該当なし		頭 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	該当なし		頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和 5 年 (事業年度の値)	令和 4 年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	32頭	8頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	19% (6頭/32頭)	25% (2頭/8頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0% (0頭/32頭)	0% (0頭/10頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	32頭	3,050基日	0.01頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: (不明) 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 0個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

- ・ 捕獲個体の耳の切断前と切断後の写真
- ・ 捕獲個体の写真(通し番号をスプレー)により捕獲を確認
- ・ 捕獲個体の捕獲場所の図面
- ・ 埋設前および埋設後の写真
- ・ 想定される捕獲頭数が少ないため食肉利用は想定していない

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。